



亀中だより

No.15 令和5年6月9日 文責 岡田

For The Students!

学校環境デーの取り組み 全校で校内清掃、除草作業をしました!

6月5日は、
「世界環境デー」

6月5日は世界環境デーです。実は、この国際デーの制定には、日本が大きく関わっていました。1972年12月15日、国連総会で6月5日を世界環境デーとすることが決まりましたが、これは、日本とセネガルの共同提案により、採択されたものなのです。

また三重県では、毎年6月5日を全学校の一斉活動日「学校環境デー」としています。よりよい環境づくりに向けて、積極的に取り組むことのできる人間の育成をめざし、各学校が創意工夫した活動を実施しています。本校では、亀山市とシャープ(株)様にご協力いただいたリサイクルの学習など年間を通じて様々な環境学習に取り組んでいます。そして、6月5日には「学校環境デー」として全校で教室廊下のそうじのほか、グラウンド、校舎、駐輪場等の除草・清掃活動を行いました。



テーマはプラスチック汚染の解決策



今年の世界環境デーのテーマは、「プラスチック汚染の解決策」です。プラスチックは、その耐久性や加工のしやすさ、さらに軽くて丈夫で低価格という理由から、使い捨て容器や包装資材としてあつという間に我々の生活に浸透してきました。しかしプラスチックは人工的な素材であり、人間が焼却処分しない限りは自然環境中に長期間残存し続けてしまいます。結果として環境破壊、健康被害につながることは容易に想像できるでしょう。

一人ひとりに生活の中でも、プラスチックの利用を控えたり、リサイクル、リユース等の考えを大切にしたい行動を重ねていきたいものです。「我々は微力だけど、無力じゃない」と No.12でお伝えしましたが、このことにも、知識ではなく、実行力を高めていきましょう。